

特集・医学の中の人間

本紙は、これまで、教度の特集で大学院、インターン、など医学教育の中の主として、制度的な側面をとり上げて来た。しかし、医学といふものを、良く考えてみると、必ずしも制度的な事柄だけが重要な問題ではないように思われる。つまり、医療とは宿命的に「一人の人間」を対象とせざるを得ない、職業である、という事情からも、必然的にもたらされる矛盾や、疑問が数多くあるのではなからうか、と思ふのである。

医学とは、神聖な職業であるとの觀念が、古來あつた。現在でも薄らいだとはいへそれは残っている。ところで、医学とは、真に神聖な學問であるのだろうか、また神聖であるとするなら、神聖ならしめるものは、一体何であるのかといふ疑問は、医学を続ける限り医師に、つきまとうものであろう。そこで、今回は、このような問題について、考える上での、一つの參考として、白十字會、村山サナトリウム院長、野村実氏の講演要旨をかかげ同時に、現在、医学を學びつつある者からの發言として、學生座談會を、掲載して、特集とすることにした。以下は、六月二十三日、自然科学研究會主催の講演會で収録したものである。

んなに大きかったかを述べておりました。しかし、臨床へ進んだ彼は数多くの疑問を、抱くようになりまふ。理想とは、是れかに違ひ、医学の無知。治療できぬものを断して、それで足事足りといへる、厚顔さ。さらにまた、いわゆる、「我々の問たけの語」(これらを、あちらの言葉では *Entre nous / 2* というのでありまふ)があまりに多い、と云うことを彼は経験して行くわけだす。

投げつけています。
 医学を捨ててゐることは、できない
 しかし、医学の進歩のかけには、
 医療の行われるかけには、このよ
 うな、目を被うような、私達が、
 私達の問だけの話にして置こうと
 いわなければならぬ事柄が、公
 然と、あるには反自覚に、あるに
 は、もうなんら無意もなくして行
 われてゐることを、私達は、考え
 直さなければならぬでしょう。
 といふこととです。
 一方、健康で、生きた生活を送
 っている人はどうでしょうか。ピロ
 アニストが夢中で演奏していると
 きには、指が自己か、自己が指か
 わからない状態にあるそうです。
 サカサカスのつな渡り、絵面き、そ
 の例は無数にある。これが具體的
 な一元論的な、人の姿であります
 私の主観ではなく、生ける人の事
 実であります。

第二に、医療の現実を、はっきりさせることが必要であります。一番欲しいのは、事実でありキから、それらを、二、三、のべましよう。

当時の、医学界では、学用患者の扱いには、相当ひどいものであったのでしよう。一八九三年にペルリンの慈善病院で、学用患者にも自由を認めさせようとした、ストライキが起つております。

次に、私は、病んでいる人間に、
次の考え方について、お話し
たいと思います。

医学は、社会全体の健康をたか
るということにも、大きな意義
があるのですが、病んでいる一人
一人の病に、

学、細胞学、化学と進んでき
る。身体的な領域だけでなく、
精神についても、同様な努力が
なされています。こういう、考
え方が、医学界全体を占領してい
る。はたして、これだけで、

サルトルは、「私は私において実存する」といいガブリエル・マルセルは「私は、私の肉体である」といっていますが、肉体をはなれて私は実存しない。同時に私をはなれては、私の肉体は実存しない。という事柄を語ったものであり

医学は、あくまでも自然科学であって、そこには、倫理性はありません。そこには、倫理性があるのだということ申し上げます。

勝沼精三先生の「内科書」の頭に「学校學問は、一たん破れなければならない、そして、正しながら、進みながら、教えられるべきものではない」とある。しかし、人間を相手とする医療である治療という段階にも物々でも動物でも植物でもなく、パティエントを相手にして、その人々の苦痛を癒すことが目的で、そこに倫理性が

病んでいる人が、どんな、レッツ
ツテ、ベシユティンムンクを持つ
ているかを考えなければならぬ
のです。

人は、誰であれ、その人でなければ
れど、果し得ぬ使命を持っていま
す。そうでなければ、人を、わざ

胃・腸・膵臓病
消化
パンチノルムは外腸
素を含む製剤で、胃
で食物を完全に消化

【包裝】

医学を学んでいる諸君に、自然科学だけでは、解決のつかない側面が、きつとあると思います。その問題を提起するにとどまると思ひます。

カントは、考慮してゐる、羞恥心などを、考慮してゐる、研究が絶て行けない。言葉の上では、ていねいにあつかつてゐても、患者のいさかきを見無視した、苦痛を与へたりすることは、

二元論的な人間像を
人間理解に歪みがないか

病氣を考える上で、容易であり、その方が当然のように考えられていくのですが、それでは、本当に病める人は、つかまれないといふ私は、いいたいのです。人の実存

[illegible]

ツインに於て、病氣をなくすることは、一つの過程であります。医療とは、その人のレッツ・ペシユティズムを、その人が歩んで行く様に、道を作って上げること

患に伴う 障害

胃酵素、内臓に
ら腸までの幅広
る働きがありま

刊
1 錠
50錠・100錠・

医学の現状には
矛盾がいつぱい
そのためには、かっこうな書
があります。ウエルサーエフの「
者の告白」(三一書房)であら
す。ウエルサーエフは、一八六
年に生まれ、一九四五年に死去
していますから、私たちと、それ
に近い存在ではありませぬ。
また、一八四九年にプテルス
ルグ医学学校を卒業しておりま
す。近代医学を学んだものとい
ましよう。
彼はその医学校での生活の始

療を生きた人間に施すことがあり
ます。ウエルサーエフも、医学校
を卒業して、いざ開業のない段に
なるという自信のない医学生で
患者に対さねばならないかを、痛
感するのです。医師は、どんなに
経験がなく、知識に乏しくても、
常に、応召の義務は、果さねばな
りません。ウエルサーエフも、こ
の義務と力量との圧倒的な差の中
で、苦しみ悶え、遂に決心して職
を捨て、ペテルスブルグの臨床研
究所に入ります。

それでも、ウエルサーエフは矛
盾に逢着します。すなわち、ジフ
テリアの患者の気管切開を、初め
て試みて、見聞を収束するのだと

質はあるのだらうと思ひます。
 その病んでゐる人は、一人一人
 氣が違ひ、また、みな、違つた
 病氣を持つてゐるのです。それに
 応ずる、考へ方を話したいのです。
 病んでゐる人の治療とは何か。
 ネットサンス、産業革命、自然科
 学の勃興という歴史に沿つて死骸
 山を越えて医学は発達し、今日
 至つたのです。この間の医学の
 歴史の間に、医学の、人間に對
 する理解は、次第に至んできたの
 はないか、これを、もう一度考
 へ直したいのです。
 自然科学の特徴よりして、物事
 は、何とも、細分すべきである
 と考へてゐる。今日の医学も然り
 である。

物質の集合、即ち人である
 まり、人を、可量なものと扱
 つて、疑問を持つ考へ方が、今
 おこつてゐる。
 人間というものを、全体と
 一つの統一體として、把握す
 るに、ペルゾンという概念
 こそで、とりあげてみたいと思
 ひます。ペルゾンが、病氣にな
 てる。これは、どういふこと
 のでありようか。
 極く簡単にいえば、心と体
 う、二つのものが、どんな関係
 あるかが、この際、大きな問題
 なるのであります。
 今日までは、心と、身体とは、
 二つの論理的、二元的な問題

この考えが、病を考える上にも
どうしても必要なのであります。
「病氣」というものではなくて「私
の病氣」「あなたの病氣」といわ
なければ、本当の病氣というもの
は、理解できないのです。これを
もっとも哲学的に主眼してはい
が、ハイデルベルク大学のヴァイ
ツゼッカーであります。もと内科
の教授ですが、アルゲマイネクリ
ニークという講座を作りまして、
まだ、世界的に広まっているわけ
ではありませんが、一部の人には
注目されている学派であります。
ヴァイツゼッカーは、次のよう
に、心身と心、心と病を説明し

「……さてはならぬものになります。分限を、守るべきかというところが、問題となるわけです。こればかりが、めっちゃめっちゃになると、ウェルサーというものが、数いたような世の中に、はすかしたような世の中に、医療の中に、たくさん起ってくるのです。」

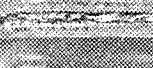
私は、自然科学は、医療の中の元凶的な、身体領域にのみ、元凶にされるべきだと思います。しかるべきなら、その身体というものは、自然科学が、どちらも、どっちも、自然科学の中では、当然倫理的な知識とはならない」と流石の言葉であります。

学校学問は、あくまでも学問であり、えてして、ペルソナから離れて考えがちであります。理学的だけでなく、外科内科と云々分野も、あかかも学問であるように扱われていることにより、不正がある。これを、正々不正のために、卒業後、学問を破壊するなり、学生時代から、そのような問題に思いを致すことが、大切なのだと、私は思います。

倫理性ということとは、何もかも倫理性ということではありません。倫理性というものは、

といひ「彼」と呼ぶ必要はなく、戦時中兵隊をそうしたように、機械的に數で称すればよいではありませんか。

今や人は、數で數えるような、そんな存在ではないはずで、一人一人が、自己の生命をきこうと努力している。その課程に起つた病というものが、その人の、レツツテ・ペンシュティンムンクに對して、どんな意義を持っているのか、医師は、そこで、どうしてやったらよいのか、が、医療に於て問題となってくるべきはずで、これが、今日の医学の、本質的命題なのであります。



胃

【適応症】 各種疾患による消化障害、醗酵性消化不良、肝臓機能不全

東京田辺 東京・日本橋本町

医療の本質は病氣をなくすことだけか

います。
「ヒンメル、イスト、プラウ」
この言葉で ヒンメルは、スプ
エクターで、プラウは、プレ
イオターですね、「青い」とい
のは「空」を説明している、と
同時に、青いといふことは、空そ
自体でもあるわけですね。
身体のようなことが、心と身体の
間にもいえるのです。「ライプ
ツェールは、ライプを説明してい
る」と同時に、心を表現している
のは、身体なのです。身体と心
は、日本の言葉でいえば、「靴上
人なく、鞍下に人なく。」とい
ふように、どちらかとどちらとも、いえない
ような関係で、お互いが、お互を
病氣というのは、ベルゾンを毒
にきていてる状態であり、そこか
ら、医療は出発すべきものなので
す。

れらを、一如にした全人格的な人間像なのです。――ちやうど、ピアノを奏でる人、指のように、顕微鏡の下でみられる所見、試験管の中の反応、それらは、みな現象であつて、背後にあるものは互ひに表現し合う、一如となつた心と身体であるというのです。これは、病んでいる人の理解の上で新しい見方、新しいというより自然科学に毒された医学が失つた見方であると思ひます。

このように自然科学が、私達の人間に対する考え方を、変えてしまつたのを反省してみますと、私達は、もう一塵、人間というもの、を、人間という、ベルゾンを、考え直してみるのがあります。病氣というものは、ベルゾンを毒にきていてる状態であり、そこから、医療は出発すべきものなので

にいえ、人間が、人間として人間に對すること、ちやうど人間に對すること、やつて、むかひに合うその中に倫理性があるの、です。ただ、そのときの人間は、目があり鼻があるという意味の人間でない、胃や肺に對しているの、ではない。眼の前の患者は、今や、自分の身体を客視視するといふ、病的な状態になつてゐる。本来二元的なものである、ベルゾンが、二元的なものである、二元的になつてしまつてゐる。

この状態を二元的なところまでひきもどすことが医療の本質だといひます。しかし、私は思ふ、難しい問題とは思ひませんが、私は主張したいと思ひます。このことから、必然的に、患者が、が、自己の病を、どう考えているかといふ問題に帰着します。ここに医療、治療の本質があるのです。傷をほつたいして、もとの通りにしてやるということも、大切なこと

芝

Toshiba

放射線機器

医療用 計測機器

医用電子機器

東芝放射線株式会社

用X線装置

区銀座7丁目5(ニューギンザ第一ビル)(571)5571・6171

区銀座7丁目4(菅原ビル)(571)5901

市 祐光町 5 番 地 (2) 2598



胃・腸・膵臓疾患に伴う

消化障害

パンチノルムは外層に胃酵素、内層に膵酵素を含む製剤で、胃から腸までの幅広い範囲で食物を完全に消化する働きがあります。

【用法】 1回1～2錠、1日3回

健保
1錠

パンチノルム

【包装】50錠・100錠

券證海鳥

本学関係病院一覽

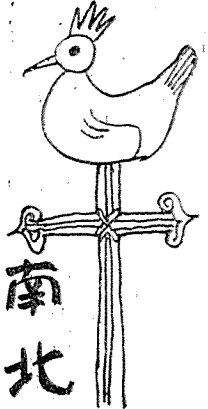
本学関係病院一覽を掲載しはじめてから三回になる。最初は一回一回で終る予定であったが、調べてみると予想外の数となった。本号は茨城県・埼玉県・千葉県等の各医局の資料からまとめたもので、洩れている病院、勤務先の変更などいろいろの不備の点があると思われるので、その場合は、至急に連絡願いたい。

茨城県

岡崎同病院・石岡市・院長手塚邦彦(内・昭11年)高瀬二(外・昭19年)新治協同病院・土浦市・院長小林一郎(外・昭12年)副院長・水野春江(皮・昭13年)平本義典(内・昭9年)三橋政信(外・昭19年)近江健作(耳・昭25年)小川町国保中央病院・東茨城郡小川町・院長星野一郎(昭16年)鹿島療養所・鹿島郡鹿島町・所長・森島清二(内・昭17年)水戸鉄道病院・水戸市・副院長梅本由巳(外・昭20年)国保岩瀬病院・西茨城郡岩瀬町・院長三宅和夫(外・昭21年)狩野誠司(内・昭18年)永井浩三郎(産婦・昭20年)宇佐美勉(外・昭23年)山野井健二(眼・昭24年)池田昭(内・昭27年)筑波国保病院・筑波郡筑波町・院長藤部敬(外・昭22年)水戸日立製作所病院・勝田市・院長井外昭13年)滝沢病院・宇都宮市・吉田敏郎(外・昭28年)双葉病院・宇都宮市・院長田光明(昭12年)根本幸一(外・昭29年)茨城町立病院・東茨城郡茨城町・時永達巳(産婦・昭33年)石崎病院・東茨城郡石崎村・高沢文一郎(精神・昭23年)太田三郎(精神・昭24年)県立友部病院・(精神・昭24年)県立友部病院・

千葉県

国立千葉病院・院長鈴木五郎(大昭11年)湯田好一(内・昭11年)高梨三樹(内・昭14年)高瀬潤一(昭22年)水戸日立製作所病院・勝田市・院長井外昭13年)滝沢病院・宇都宮市・吉田敏郎(外・昭28年)双葉病院・宇都宮市・院長田光明(昭12年)根本幸一(外・昭29年)茨城町立病院・東茨城郡茨城町・時永達巳(産婦・昭33年)石崎病院・東茨城郡石崎村・高沢文一郎(精神・昭23年)太田三郎(精神・昭24年)県立友部病院・(精神・昭24年)県立友部病院・



埼玉県

27年) 造山聖蘭川病院・和田行世町・院長鈴木正三(内・昭16年)成田赤十字病院・成田市・院長渡辺進(外・昭5年)副院長三宅一郎(内・昭16年)横川仁(内・昭27年)河内亮介(内・昭27年)森山典男(内・昭28年)吉野晋(皮・昭24年)秋山瑞男(産婦・昭19年)青山藤二(内・昭28年)県立東金病院・東金市・院長久我冬雄(外・昭7年)宮城和彦(内・昭18年)古谷直人(産婦・昭18年)国保津病院・木更津市・院長若山芳雄(外・昭10年)平野光治(内・昭25年)和田豊治(内・昭26年)土手守人(外・昭26年)唐木清一(外・昭28年)三沢欣也(内・昭25年)大津幸(産婦・昭22年)神田勝男(内・昭22年)山本豊二(皮・昭23年)仲田一(眼・昭20年)君津病院大賞分府・君津市・院長尾崎義夫(外・昭19年)江田研作(内・昭25年)今関治(内・昭29年)田辺正義(眼・昭33年)高久昇(皮・昭25年)大谷彰(内・昭24年)船橋診療所・印旛郡印旛町・粕谷秀雄(内・昭25年)三善堂病院・成田市・院長藤崎昭文(内・昭4年)北総病院・野田市・西沢重男(内・昭20年)東洋高圧工業所診療所・茂原市・所長・風戸豊(内・昭23年)東武専科・中島忠一(内・昭25年)清水文雄(産婦・昭25年)錦田病院・市原郡五井町・鈴木英政(内・昭28年)土屋病院・夷隅郡大原町・浅井常次郎(産婦・昭28年)田村病院・館山市・望月良夫(産婦・昭28年)同和会・船橋市・船橋市・石田武(昭21年)田村第二病院・館山市・柴田耕三(昭24年)果立桜ヶ丘青生園・千葉市・園長金子純雄(昭15年)林国春(昭33年)日立製作所病院・館山市・茂原市・松村映太郎(昭22年)

埼玉県

長瀬田勝夫(内・昭17年)太田董二(内・昭25年)植松哲(昭25年)内・昭29年)玉川勝郎(産婦・昭29年)国立志津病院印旛郡四街道町・院長飯田政雄(内・昭12年)篠崎幸一(内・昭15年)吉見相模敬明(内・昭25年)斎藤美健(外・昭23年)志村公男(昭35年)社会保険船橋中央病院・船橋市・院長角田寛雄(内・昭13年)橋爪道男(内・昭17年)北川若正(内・昭21年)田辺邦彦(内・昭24年)秋田茂(内・昭25年)小林章男(内・昭31年)国保直営船橋野病院・船橋市・院長森谷恵(昭15年)県立船橋病院・市原郡船橋町・院長斎藤広(外・昭15年)松岡淳夫(外・昭25年)中村誠一郎(外・昭28年)宮崎高次(内・昭23年)杉田喜久寿(内・昭25年)国保直営小櫃病院・君津郡小櫃村・院長・古山誠(昭15年)組合立長生病院・長生郡本納

会 員 消 息

陽春の候皆様には益々御健勝のことと拝察致します。私事五月十九日附で高倉退職を承認され、高崎通信診療所長の職を退くことになりました。在職二十六年間を大過なく勤くことが出来たことは、一重に皆様の御力添へによるものと感謝して居ります。これからは左記の所々で七月一日頃から医師としての余世を送りいくらかでも社会に奉仕出来れば幸と存じますので今後ともよろしく御交誼の程を御願ひ申し上げます。住居は上信バス 上小高 又は 上並 桜 行で県営住宅前下車です。御来高の折に御立寄り下さいます様招待申し上げます。先は御挨拶を御礼まで。昭和卅七年五月廿日 高崎市並根町二〇三 電話高崎(2)一六三五 内 山 信

技術と伝統を誇る
心電計専門メーカー
優れたネットワークを擁して満足の頂ける
アフターサービスを実施しております
福田エレクトロ株式会社
東京都文京区月町三丁目三四
電話(四)四一四六九

千葉大初優勝なる

東日本医体盛大に

七面詳報とりの企画で、東日本医学生総合体育大会が行なわれ千葉大は、剣道、バドミントン男女、硬式野球女子に優勝して、総合点七月三十日現在四八・五を上げて首位に立ち夏期部門での総合優勝は、確定的なものとなった。

ため、二三の種目に変更のあったのは、晴天にめぐまれ予定どおり進行。日輪燃ゆる真夏の大会であるだけに、連日三十二度を越す猛暑の連続で、各選手とも、暑さとの戦いに力をつらわはしたが、二十二の医学校二千八百名参加の下、随所に緊迫したゲームの展開が見られ東日本医学生学生スポーツ界最大の行事と呼ぶにふさわしい内容であった。



疾走する若駒

三菱コルト

デラックス

粋いも新らたに、フレッシュなスタイルと機能で皆様を魅了するでしょう。

千葉菱知自動車株式会社
本社 千葉県千葉市浜野町1025番地
工場 TEL 千葉(2)8296-7番